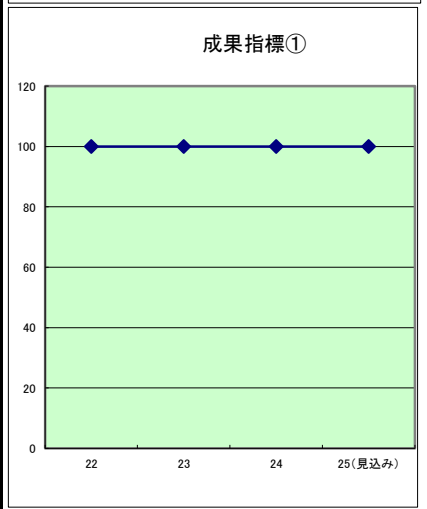
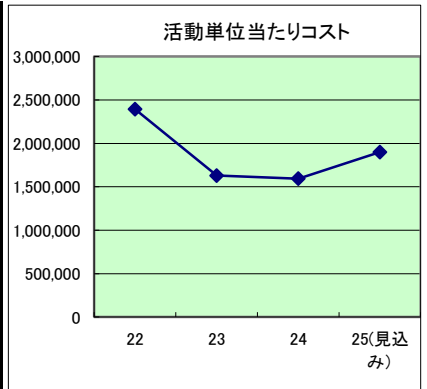


事務事業名		下水道施設管理事業		予算科目 会計 5 公共下水道特別会計 款 1 下水道費 項 1 下水道総務費 目 4 施設管理費 事業 1 施設管理費（雨水分）	作成部署		下水道部下水道総務課	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		(連絡先)		072 - 958 - 1111 内線 2390	
	施策(節)	11	上下水道					
	施策の方向	(4)	下水道事業の推進					
関連する計画等								
事業の概要(目的・内容)		下水道施設の運転管理及び点検・清掃等維持管理を行なう。(雨水)ポンプ場1箇所、ゲート17箇所、貯留施設2箇所(汚水)中継ポンプ場1箇所、マンホールポンプ24箇所						
根拠法令等		下水道法						
事業期間		☒ 10 年以上 ☐ 5 年以上10年未満 ☐ 5年未満 (平成 年度開始)						
事業開始時からの状況変化		下水道施設の増加、河川事業（浄化施設）、道路事業（ポンプ場）、耕地事業（排水機場）、公園事業（修景施設）の包括化						
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☒ 民間委託		委託内容		公共下水道施設管理業務		
		☐ その他						

区 分		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込み)
事業費【1】		(千円) 120,489	82,028	80,518	99,798
人件費【2】		(千円) 11,160	10,800	10,350	10,350
職員数	正規職員	1.55 人	1.50 人	1.50 人	1.50 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考)		(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費【(1)+(2)】【A】		(千円) 131,649	92,828	90,868	110,148
財源内訳	国庫支出金	(千円) 0	0	0	0
	府支出金	(千円) 6,356	5,382	3,975	3,317
	市債	(千円) 0	0	0	0
	その他(使用料・手数料等)	(千円) 2,098	2,100	2,101	2,101
一般財源【B】		(千円) 123,195	85,346	84,792	104,730
活動指標【C】		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)
① 施設箇所数	箇所	55	57	57	58
②					
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		2,393,618 円	1,628,561 円	1,594,175 円	1,899,103 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】)		2,239,909 円	1,497,298 円	1,487,579 円	1,805,690 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		1,115 円	792 円	780 円	949 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			▲ 30.7 %	▲ 0.6 %	23.5 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ ☒) ※該当項目すべてに ☒		☒ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☐ 5. その他()			



成果指標 (事業の達成度を測る指標)	指標名		平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
	①	施設の安定稼働率	%	目標	100	100	100
	(式又は説明) 数×100		実績	100	100	100	100
	②		目標				
	(式又は説明)		実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○		○						

1

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☐	☐	☒	運転、機能保全については、市民生活を守るためには必要不可欠である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☐	☐	☒	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	他部署にまたがった施設を一元化することで経費を軽減し、より効率的な運営ができる。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☐	☐	☒	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☐	☐	☒	
	有効性達成度	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	安定した運転管理は「安全安心快適で住みやすいまちづくり」への貢献度の高い事業である。施設の経年による修繕を最小限にとどめ、日々の管理技術を向上させ、施設を有効かつ効率的に運営し、より安定した運転管理を行なっている。
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	施設については、下水道整備が進む中、拡大していくと考えられ、より効率的な運営を図っていく。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	